



りょうぜん里山がっこう
たかのきんすけ
高野金助さん

継続した体験を通して伊達市を特別に思うことにつながったと思います。今後も伊達の農業を伝えていきたいです。



たけのりょうすけ
竹野亮祐さん（福島市）
友いさん

伊達の皆さんは本当に温かい。夫婦で福島市に引っ越してきて、地域を知ることができました。稲作体験、最高でした。



Pick up Topics★

伊達市を知ってファンに

伊達市シティブロモーション
里山稲作体験事業

伊達市が身近なものに

最

終となる4回目の里山稲作体験を11月28日に霊山町のりょうぜん里山がっこうで行いました。この

体験は、田植えや稲刈りなどの農業体験を通してファンを作り、交流人口を増やす目的で市外の人を対象に開催。5月の田植えは新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、6月の稲の観察、8月の桃の収穫、10月の稲刈り、11月の収穫祭など、約20人の参加者が1年を通して農業や豊かな自然に触れ合いました。参加者は「樹木に実った桃や稲の花を初めて見ました」と話し、貴重な体験によって伊達市を知り、親しみを感じているようでした。



ほばらサマーフェスティバル・伊達町マルシェ

久しぶりのにぎわい「待ってました」の笑顔

県内一、熱く！

12

月4日⑤5日⑥、市内各地でイベントが行われました。ほばらサマーフェスティバルでは、

グルメが軒を連ね、ダンスや太鼓の熱いステージが祭りを盛り上げました。参加者からは「子どもがお祭りに行きたいと言っていたのでうれしい。」など、開催を喜ぶ声が聞かれました。主催した保原町商工会青年部の吉田亮部長は「子どもたちの笑顔を見て、やっ

少しでもイベントを

5

日の伊達町マルシェでは地元店舗の特製

弁当や新鮮野菜が並びました。開始前から長蛇の列ができ、特製弁当は約30分で完売する盛況ぶりでした。

主催した伊達町マルシェ実行委員会の山田愛委員長は「みんな待っててくれたと感じた。できるところから少しずつ催しをやってきたい。」と話しました。

てよかったと思った。」と安堵の表情を浮かべました。